

令和2年度 第1回江別市まち・ひと・しごと創生有識者会議 意見結果

ご意見の要旨と市の考え方

No.	委員	項目	ご意見等の要旨	市の考え方
1	澤井委員	全般	いずれの事業についても新型コロナウイルスの影響で実施することが難しい施策が多々あると思われるが、単純にあきらめてしまわず、感染拡大防止に十分留意しながら、色々工夫して目的達成に向けた事業展開を図るべきである。	ご意見にあるとおり、新型コロナウイルスにより各事業のスケジュール等に影響が生じているところです。 今後、感染症の動向を注視して事業の実施時期を見極めつつ、オンラインやSNSを活用した情報発信など様々な手法を検討し、感染症拡大防止に配慮した事業展開を図ってまいります。
2	田口委員	資料1 令和元年度実績 「観光振興計画推進事業」	①地域資源とは？ 地域資源と明言されながらも、毎年限定された資源に関する継続事業に捉えられる。 ②既存文化遺跡の保存と活用～他団体連携 新たな事業展開だけではなく、江別市観光振興の役割機能として既存遺跡等、整備・保存し、観光資源・教育的資材として活用することも重要と考える。 観光振興と文化遺跡保存関連と連携した事業展開も必要ではないか。	①当市は、「食」や「自然」などの観光資源において関心が高い一方で、その認知度は低いという調査結果があることから、本事業では、まず、それらの魅力を伝える情報発信の強化に取り組むこととしています。今後は、その範囲や手法などについて工夫をしております。 ②江別市観光振興計画の中で、北海道遺産である「江別のれんが」や歴史的建造物を活かした取組を行うこととしています。今後、観光のボランティア団体等と協議し、観光資源・教育的資源として活用することについて検討してまいります。
3	田口委員	資料1 令和元年度実績 「江別版生涯活躍のまち推進事業」	①当事業におけるコーディネーターとは 当事業においてコーディネーターの位置づけ、役割が大きいように伺える。当事業におけるコーディネーターとは、どのような定義をもち、どのような役割を担い、資格的性格を持つものなのか、どのような人が担うのか。	コーディネーターについて今年度は、主に生涯活躍のまち推進事業、拠点施設などのPRや、市の特色でもある4大学、商店街や地元自治会などと拠点地域との関わりについて協議、検討してまいります。拠点施設のオープン後は、交流拠点施設を活用した交流機会の提供、地域資源と連携した拠点施設の魅力づくり、拠点エリア内施設への転居、住み替え相談支援、エリア内施設における就労、ボランティアの斡旋、地域と連携した生涯学習の場の提供等も想定しているところです。 また、コーディネーターについては、大麻など地域のまちづくり活動を実践されている方など計5名が選任されており、特に資格の要件はありませんが、生涯活躍のまちに対して深い見識及び柔軟な発想を有している方を選任しております。

No.	委員	項目	ご意見等の要旨	市の考え方
4	田口委員	資料2 令和2年度採択状況「えべつ食のブランド海外展開促進事業」	①海外フェアは、域外マーケティング拡大として大変良い事業であると考えますが、コロナ拡散防止の本年にあたり、海外、道内外等活動制限された場合の代替案、ネット通販とかネット広報等、何らかの代替案を明示することも必要ではないか。 ※この企画だと、万一海外フェア実現しないと、国内推進事業以外そのまま実行できない企画となっている。	海外フェアについては、感染症の影響を見極めながら実施する予定ですが、仮に、開催時期に現地に渡航できないなどの事情が生じた場合には、商品及び外国語パンフレットを郵送し、展示やPR業務等は現地の運営事業者に依頼するなど、様々な手法を検討してまいります。
5	田口委員	資料2 令和2年度採択状況「江別市就労支援プログラム事業」	①子育て世代～ぽこあぽこ施設と隣接し実効性高い企画と拝察する。 ②就労支援ネットワークについて国内外各所視察している立場から申し上げますと、既存機能と新設機能の連携の難しさがある。故に、産学公民連携をいかに実現するか(イメージする程簡単ではないが)検討をしながら推進してほしい。	①子育て支援施設と隣接した立地を生かした企画を検討してまいります。 ②本事業は、これまでの就職支援事業の裾野の拡大と利便性の向上を図るため、商業施設内に常設の拠点を設けて情報提供等を行うものです。 これまでに構築した仕組みを活かしつつ、商工会議所を始めとした経済団体、市内大学及び高校、ハローワークさらには市民活動団体等と定期的な情報交換を行い、拠点の有効な活用方法等について検討してまいります。
6	田口委員	資料2 令和2年度採択状況「若者「えべつ愛」育成プロジェクト」	①過去事業との違いは何か？ 過去にも同じような内容事業推進があった記憶がある。 企画に向けた問題点(原因)と対応(事業の枠組み)が示されているが、これも過去の実績同様ではないか。 ②机上の空論を避けるための具体的活動は？ ワークショップ参加者も一部であり、ロゴの作成・対応が静態的であり、まさに机上の空論にならないか？	①これまでも大学生に対して江別市のPRを実施してきたところですが、主に在学生に対する取組にとどまり、大半の学生が市外に移住する卒業以降、効果が持続しなかったところですが。 本事業では、卒業後に他市に移住した学生にもアプローチを行い、買い物や観光など、継続的で多様な関係の構築を目指してまいります。 ②ワークショップやロゴの作成において、大学生の主体的な参加を促していく予定としていますが、ご意見にあるとおり、実効性のある取組とするため、様々な方のご意見をいただきながら実施手法を検討してまいりたいと考えております。
7	田口委員	資料2 令和2年度採択状況「学生お試し移住・定住推進プロジェクト」	①地域移住就業～インターンシップ云々と記載されているが、江別市地域密着型インターンシップ20年近く推進してきた立場として、地元企業が本当にインターンシップ生受け入れ体制にあり、経済界との意思共有され、実効性高い体制が整備されているのか？ ②コーディネーターについて コーディネーターの定義・役割・資格等について	①ご意見にあるとおり、インターンシップには受入企業の理解や体制が重要であることから、学生への指導やフォローが適切に行われるよう、受入企業との間できめ細かな意思疎通を図ってまいります。 ②コーディネーターは、本事業を受託する事業者が、学生と地域・企業等との橋渡しをするため、学生による企業訪問に同行したり、インターンシップにおける受入企業のマッチング等を行います。 コーディネーターに必要な資格を定めていませんが、学生が安心して活動できるよう、学生に身近な感覚で相談やアドバイスができる人材を配置したいと考えています。

No.	委員	項目	ご意見等の要旨	市の考え方
8	田口委員	資料2 令和2年度採択状況 「観光振興計画推進事業」	1年目上記(No2)同様	No2に対する「市の考え方」のとおり
9	田口委員	資料2 令和2年度採択状況 「江別版生涯活躍のまち推進事業」	<p>①事業イメージによる「社会参加の仕組み—高等養護学校連携—地域交流拠点施設多世代交流—介護・医療サービス～住み替え支援」の支援循環性の実現は大変意義深く、高齢化社会にあって大変重視点であると考えます。</p> <p>しかし、実効性として、パン工房体験とか、4 大学連携とか同じような文言ばかりが並び、想定される事項・企画案として明示されていないのが、実効性低く捉えられる。</p> <p>ワークショップ等で一から決めていく企画としては実効性低く残念である。</p> <p>②これまで積極的に取り組んできた江別市の企画事業の成果を活かし、そこから問題点を提示して、活動計画を具体的に提示することはできなかったのか？</p>	<p>市では、江別版「生涯活躍のまち」構想に基づき、令和2年3月に江別市生涯活躍のまち形成事業計画を策定したところであります。江別版生涯活躍のまちでは、3つのコンセプトとして、①生涯にわたって安心して生活できるまちづくり、②若年層や障がい者など多様な主体との交流による「共生のまち」を実現し、まちの持続可能性を高める、③地域の特色ある社会資源を活用するまちづくり、を掲げており、形成事業計画における上記コンセプトを踏まえ、市民委員を含めた15名の委員から構成される、江別市生涯活躍のまち整備事業地域再生協議会において、約1年に渡り、ご審議いただき、拠点地域を中心とした個別、具体的な取組をまとめたところです。</p> <p>今後においては、江別市生涯活躍のまち形成事業計画に掲げる取組について、アクティブシニアなどを対象に開催するワークショップを通して、多様なご意見を伺っていくとともに、これまで市が取り組んできた事業成果やノウハウも踏まえ、さらに効率的で実効性の高い取組にまいります。</p>